



熊本県公報

号外 第21号
令和3年(2021年)
4月1日(木)
(毎週 火・金発行)

目 次

訓 令

- 熊本県消防関係職員の服制、服装及び被服類の貸与に関する
規程の一部を改正する訓令…………… (消防保安課) 1

訓 令

熊本県訓令第17号

本庁各部（公室・局）課（グループ）
各 地 方 出 先 機 関

熊本県消防関係職員の服制、服装及び被服類の貸与に関する規程の一部を改正する訓令
を次のように定める。
令和3年4月1日

熊本県知事 蒲 島 郁 夫

熊本県消防関係職員の服制、服装及び被服類の貸与に関する規程の一部を改正する
訓令

熊本県消防関係職員の服制、服装及び被服類の貸与に関する規程（昭和38年熊本県訓
令甲第51号）の一部を次のように改正する。
別表第1を次のように改める。

別表第1 (第2条関係)

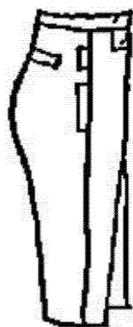
熊本県消防関係職員服制

| | | | | |
|------|--------------------------|--|---|---|
| 制服 | 上衣 | 地質 | | 黒色又は濃紺色の毛織物 |
| | | 製式 | 前面 | <p>開襟剣襟</p> <p>胸部は二重とし、消防き章をつけた金色金属製ボタン各3個を2行につける。</p> <p>前面の次に2個、上記に1個のポケットをつけ、下部左上記のポケットにはふたをつける。</p> <p>形状は図のとおりとする。</p> |
| | | | 女性 | 打合わせを右上前とするほかは、男性と同様とする。 |
| | | 胸章 | <p>黒色の台地に、上下両縁に金線ししゅうを施し、中央に平織金線及び銀色消防き章をつけた職名章を右胸部に、その上部に黒色の台地に流水形の銀モール3本を付した消防関係職員章をつける。</p> <p>形状及び寸法は図のとおりとする。</p> | |
| | 袖章 | <p>幅30ミリメートルの黒色しま織線2条及び幅6ミリメートルの蛇腹組金線1条を表半面にまとう。</p> <p>形状及び寸法は図のとおりとする。</p> | | |
| | 下衣 | 地質 | | 上衣と同様とする。 |
| 製式 | | 男性 | <p>長ズボンとし、両もも及び右側後方に各1個のポケットをつける。</p> <p>形状は図のとおりとする。</p> | |
| | 女性 | <p>長ズボン、スカート又はキュロットスカートとする。</p> <p>形状は図のとおりとする。</p> | | |
| 外とう | 地質 | | 黒色又は濃紺色の毛織物 | |
| | 製式 | | <p>開襟剣襟</p> <p>胸部は二重とし、消防き章をつけた金色ボタン各3個を2行につける。</p> <p>ポケットは各左右1個とし、ふたをつける。</p> <p>背部に幅60ミリメートルの背帯をつける。</p> <p>えり部に頭きんどめの黒色ボタン5個をつけ頭きんに鼻おおい1個及び黒色ボタン3個をつける。</p> <p>袖に、制服上衣に準ずる袖章をつける。</p> <p>形状は図のとおりとする。</p> | |
| 盛夏略衣 | 上衣 | 地質 | | 水色の布 |
| | | 製式 | 前面 | <p>開襟(小開き式)</p> <p>地質と似た色のボタン4個を1行につける。</p> <p>ポケットは胸部左上記に各1個とし、ふたをつけたボタンでとめる。</p> <p>形状は図のとおりとする。</p> |
| 女性 | 打合わせを右上前とするほかは、男性と同様とする。 | | | |

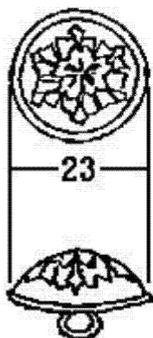
| | | | | |
|-------|------|----|--|--|
| | | 肩部 | 外側の端を肩の縫目に縫込み、襟側を地質と似た色のボタン1個でとめる。 | |
| | | 袖 | 長袖カフスつきボタンドめとする。 | |
| 下衣 | 地質 | | 濃紺色の布 | |
| | 製式 | 男性 | 長ズボンとし、両もも及び右側後方に各1個のポケットをつける。形状は図のとおりとする。 | |
| | | 女性 | 長ズボン、スカート又はキュロットスカートとする。形状は、長ズボンは男性と同様とし、スカート及びキュロットスカートは制服下衣と同様とする。 | |
| 帽 | 地質 | | 黒色又は濃紺色の毛織物。夏帽は制帽の黒色又は濃紺色を灰色とする。 | |
| | 制帽製式 | 男性 | 円形とし、黒色の革製前ひさし及び黒色の革製のあごひもをつける。あごひもの両端は、帽の両側において消防き章をつけた金色ボタン各1個でとめる。帽の周囲には黒色斜子縁及び蛇腹組金線をつける。形状は図のとおりとする。 | |
| | | 女性 | 円形つば形とし、帽のまわりに濃紺又はその類似色のリボンを巻くものとする。形状は図のとおりとする。 | |
| | 帽章 | | 金色金属消防き章をモール製金色桜で囲む。台地は黒又は濃紺の毛織物とする。形状及び寸法は図のとおりとする。 | |
| | 略帽製式 | 地質 | | 黒色又は濃紺色及び灰色の毛織物。 |
| | | | | 地質と同じもので作った前ひさし及びあごひもをつける。あごひもの両端は、帽の両側において消防き章をつけた金色ボタン各1個でとめる。帽の周囲には白色及び黒色布平織地の帽帯をつける。形状は図のとおりとする。 |
| | 帽章 | | 銀色金属製消防き章とする。台地は、地質に同じ。形状及び寸法は図のとおりとする。 | |
| ワイシャツ | | | 白色の無地のものとする。 | |
| ネクタイ | | | 濃紺色の無地のものとする。 | |
| 手袋 | | | 白色の無地のものとする。 | |
| 靴 | | | 黒色又は茶色の革製品とし長短適宜とする。 | |
| 作業衣 | | | 紺色の無地の布で形状は作業に適したものを別に定める。 | |
| 開襟シャツ | | | ねずみ色の無地とし薄い布を用いる。形状は半袖としその他は盛夏略衣に準ずる。 | |
| 作業靴 | | | 白色又は黒色とする。 | |
| 雨衣 | | | 色及び形状については別に定める。 | |

制服

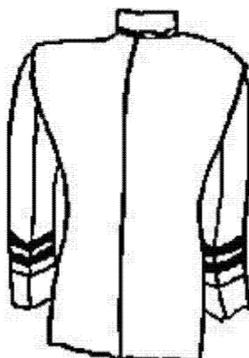
ズボン



ボタン



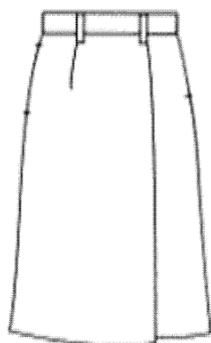
後面



前面



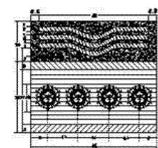
キュロット
スカート



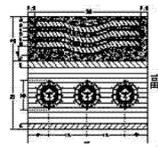
スカート



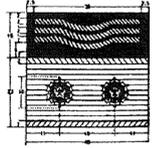
胸章



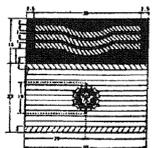
知 事



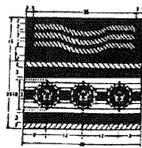
副 知 事



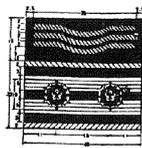
総務部長
総務部市町村・税務局長
広域本部長、副本部長
広域本部地域振興局長



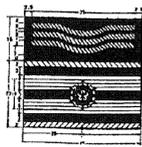
消防保安課長
政策監(消防保安課勤務を命ぜられた者に限る。)
消防学校長
広域本部部長
広域本部地域振興局次長、部長



消防保安課課長補佐
消防学校副校長
消防学校主幹
広域本部課長
広域本部地域振興局課長

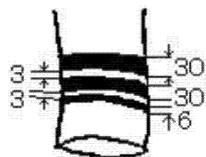


本庁課長補佐(消防保安課課長補佐を除く。)、
主幹、参事
消防学校参事
広域本部課長補佐、主幹、参事
広域本部地域振興局課長補佐、主幹、参事



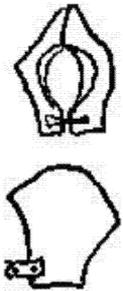
主事
教官

袖章

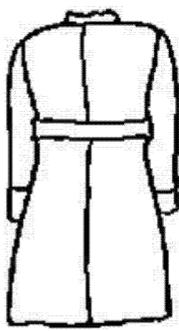


外とう

頭きん



後面



前面

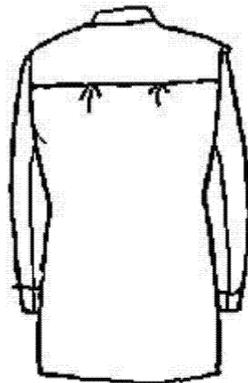


盛夏略衣

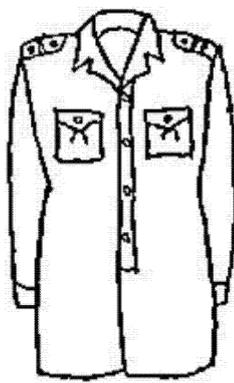
ズボン



後面

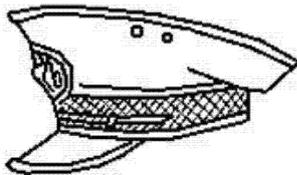


前面

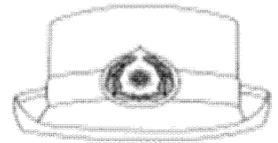
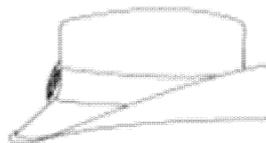


制帽

男性



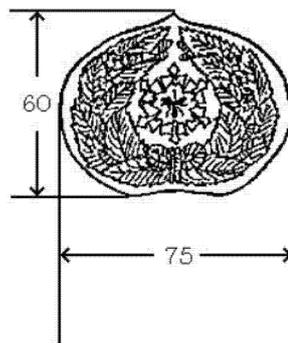
女性



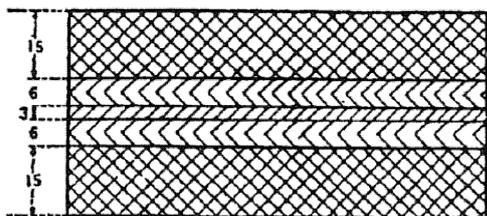
あごひも止めき章



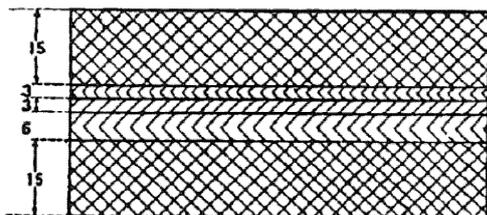
帽章



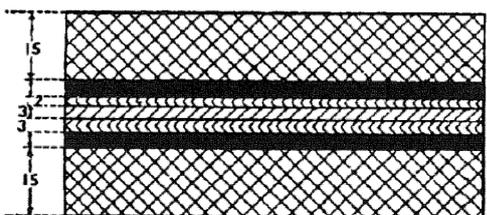
帽 帯



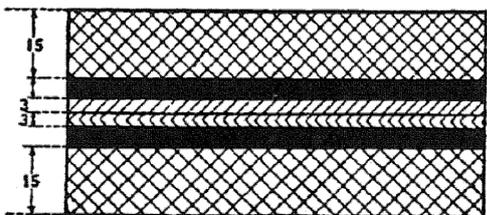
知事
副知事
総務部長
総務部市町村・税務局長
広域本部長、副本部長
広域本部地域振興局長



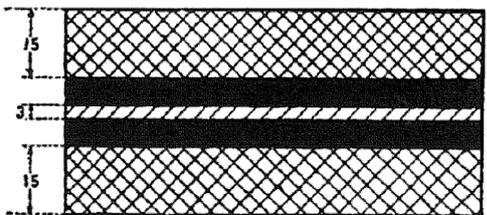
消防保安課長
政策監（消防保安課勤務を命ぜられた者に限る。）
消防学校長
広域本部部長
広域本部地域振興局次長、部長



消防保安課課長補佐
消防学校副校長
消防学校主幹
広域本部課長
広域本部地域振興局課長



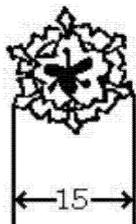
本庁課長補佐（消防保安課課長補佐を除く。）、主幹、参事
消防学校参事
広域本部課長補佐、主幹、参事
広域本部地域振興局課長補佐、主幹、参事



主事
教官

略帽

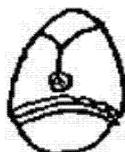
あごひも留めき章



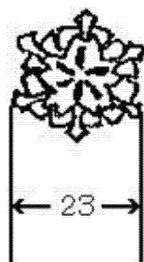
側面



正面



帽章



備考 単位は、ミリメートルとする。

別記第1号様式中「㊦」を削る。

別記第2号様式中「

| | |
|----|----|
| 印 | |
| 受領 | 返納 |

」を「

| | |
|----|----|
| 受領 | 返納 |
|----|----|

」に改める。

別記第3号様式及び別記第4号様式中「㊦」を削る。

附 則

この訓令は、令和3年4月1日から施行する。